

Twitter で図書館の
最新情報をお届け！！



令和4年(2022年)10月 通刊 177号

電話 0467-87-1001 FAX 0467-85-8275 火曜日～金曜日は9時～19時 土日祝日は9時～17時

図書室併設の博物館が開館！

茅ヶ崎市博物館が令和4年（2022年）7月30日、市内堤にオープンしました。博物館には、市内で出土した土器や土偶をはじめ、茅ヶ崎に生息する動植物の標本などが展示されています。「大地と人の物語」をテーマに茅ヶ崎の自然と、それを背景に営まれた人びとの暮らしや、そこで育まれた文化を伝える内容となっています。

開館当日には、多くの方がご来館になり、茅ヶ崎の歴史や文化に触れていました。



併設図書室で郷土資料を所蔵 分室として貸出・返却も可能

博物館の中には図書室が併設され、茅ヶ崎市の郷土に関する資料や、自然科学分野の本を多く取りそろえています。この博物館図書室は、市立図書館の分室として、貸出や返却、予約資料の受け取り等ができます。



▲みどり豊かな立地の博物館

◀企画展に関連した図書の展示

博物館の展示と関連した本で知識を深めたり、本を読んで疑問に思ったことを学芸員に尋ねたり、子どもから大人まで楽しく学べる博物館へ、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

博物館図書室

■所在地 茅ヶ崎市堤3786番地1

■電話 0467-81-5607

■開室時間 9時～17時

■休室日 月曜日（祝日の場合はそれ以降の平日）、
年末年始、その他博物館の状況に応じて臨時休室することがあります。

■注意事項 駐車場が工事中のため、公共交通機関、自転車、バイク等でお越しください。
（駐車場は令和4年12月完成予定）





長年の活動が 表彰されました



ボランティアの皆様は、図書館の活動を支えてくださる、心強い味方です。様々な活動の団体がある中で、長年の活動をたたえ3つの団体が表彰を受けました。

令和3年度に表彰されたのは「布えほんグループコスモス」と「茅ヶ崎図書館・子どもの本の会（以下、子どもの本の会）」、「おはなしのたまご」です。布えほんグループコスモスは神奈川県図書館協会表彰を、子どもの本の会は茅ヶ崎市教育委員会表彰を、おはなしのたまごは茅ヶ崎市教育委員会感謝状の贈呈を受けられました。また、子どもの本の会は令和4年度に神奈川県図書館協会表彰も受けられています。

受賞されたそれぞれの団体の皆様に、これまでの活動や想いなどを伺いました。

「想い引継ぎ活動を続ける」

布えほんグループコスモス

「先輩方が続けてこられた活動が評価され、率直に嬉しく思います」

そう話してくださったのは、令和3年度代表の
ゆらさちこ
由良幸子さんです。

同会は、心や身体に障がいのある子どもたちに、本を読む楽しさを届けるとともに、おもちゃで遊びながら楽しく機能回復をしてもらう目的で、布を使った絵本やおもちゃの作製を行っている団体です。昭和56年4月の活動開始以降、図書館にもたくさんの作品を寄贈してくださっています。

「小さな子どもや障がいのある方へと始めたものが、今では幅広い方々に活用していただいています」
現在も図書館では100以上の作品が利用され

ています。貸出をするうちに、パーツが取れたり汚れたりすることもあり、定期的に修理や洗濯などの作業もご協力くださっています。

「丈夫で安全で、温かみを感じられるような作品を作っていきたいですね」

会の活動の魅力について尋ねると「会のメンバーにとって作品を喜んでくれる方、楽しんでくれる方がいることが私たちの喜びです。会員同士の交流も楽しいですね」と話す由良さん。

40周年を迎え「これからも会を続けてこられた方々の思いを引継ぎながら、楽しんで活動を続けていきたいです」と今後への想いを語られました。



活動四十周年記念時の
←布えほん講習会

「『読書のよろこび』を届けて」

茅ヶ崎図書館・子どもの本の会

同会は、図書館主催の読み聞かせ講習会の講師のみなさんが、子どもたちに『読書のよろこび』を届けたいと願い、平成13年9月に結成されました。現在では、会員のみなさんがそれぞれ講座の講師として活動し、市内の読書活動の充実と啓発に努められています。また、図書館でのおはなし会や、発行から20年目を迎える、小学生～高校生向けの推薦図書を紹介する「よんでネット」の編集・発行に携わっていただいています。



「おはなしを届けた時の子どもの笑顔は、何にも代え難いもの」代表の^{まえだ ほうずみ}前田峰澄さんは、会員のみなさんの想いをお話してくださいました。

異なった年齢で本の好きな子どもたちが集まる図書館と、年齢は同じだけど本が好きとは限らない子どもたちの集まる小学校。その両方に本を届けることで感じているのが「子どもたちの感じ方の違いを知ることも活動を通した楽しさのひとつ」と言います。

ある小学校の1クラスから始まった読み聞かせ活動は、その後、全学年全クラスへと広がり、そして今では、市内の小学校で当たり前のように行われるようになっていきます。

「協力してくださっているすべての方と、おはなし会や『よんでネット』を楽しみにしてくれるみなさんに感謝し、今後も続けていきたいです」

前田さんも、お子さんが通う小学校のボランティアがきっかけで読み聞かせと出会い、図書館の講習会や、会のメンバーと勉強を積み重ねていったそうです。

「大人に選書の大切さを学ぶ場所を作り、子どもたちに良い本を届けていきたいです。そして茅ヶ崎の子どもたちに『本は楽しい』と思ってもらいたいです」



おはなし室前よんでネット
←コーナーの本は大人気

「本を選ぶ大切さを胸に」

おはなしのたまご

香川公民館主催の読み聞かせ講座の参加者を中心に、平成17年に発足した同会。以降、図書館

香川分館でのおはなし会をはじめ、香川公民館主催の「夏のおはなし会」にも協力しています。参加者からも大変好評で、地域の読書活動推進に貢献されています。



「夏のおはなし会」は、
←大盛況でした。

受講した講座では、単に絵本の読み方の技術だけではなく「子育てをする上で大切なことや、読み聞かせが子どもの成長にどんな意味を持っているのか、また、子どもへ届ける本を選ぶことの大切さなどを教わりました」と、当時のことを教えてくださいましたのは、代表の^{あしかかよ}明石香代さんです。

明石さんは、当初から会に参加されている一人。活動のやりがいについて「反応のひとつひとつが嬉しいですね。子どもたちが楽しんでくれることが何よりの力です」子どもたちからもらった感想文集を「うれしくて、くり返し読んでしまいます」と笑顔で話してくださいました。

発足当時は、手探りで進めてきたという読み聞かせ活動。続けていく上で感じているのは、「小学校や図書館での読み聞かせや、子どもへ本を届けることは、とても責任があるということです」

今回の受賞を受けて「講師から教わった大事なことを胸に、どうすればみんながお話を楽しめるのか、子どもたちへ手渡すに値するものを届けられているのかを、自分自身に問いながら活動していきたいです」と、気を引き締めながら今後の抱負を話してくださいました。

長年にわたる皆様の活動に図書館は支えられてきました。本当にありがとうございます。



香川分館で行っているイベント
や最新のトピックスなどをお伝え
しています。

茅ヶ崎市立図書館香川分館
茅ヶ崎市香川1-11-1
☎0467-51-4946



おはなし会を再開します

小さな子から小学生まで楽しい時間が過ご
せます。ぜひ、ご参加ください。

日時 第3土曜日 午後2時から
場所 香川公民館保育室
担当 茅ヶ崎おはなしの会（偶数月）
おはなしのたまご（奇数月）

受付 当日先着4組

※日程、会場等は変更する場合があります。


お気づきですか？

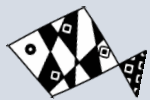
香川分館に入ってまっすぐ進んだ右手に「ミ
ニ企画展示」と「新着図書」の棚があり、受付
カウンターの反対側にもおすすめの本を集め
た棚があります。

みなさんに利用されることを期待して、テー
マにあわせてピックアップした本や、新着図書
を並べています。

香川分館にいられた時には、ぜひ、この2つ
の棚の本もご覧ください。

新たな本との出会いがありますように…。

あんな分室 



こんな分室

青少年会館
図書室

市内には、本館・香川分館の他、10の図書室と2つの
配本所があります。今回は、青少年会館図書室をご紹介
します。実際に図書室で働く職員に①置いてある本の特
色②アピールポイントを聞いてみました。

①約11,500冊の本があ
り、絵本・小説・料理本が充
実しています。

室内中央に配置した「賞を
取った本」のコーナーは、本
選びに迷った方々に大好評
です。

②コロナ禍の今は閲覧席の
数を減らし展示コーナーを
充実させています。

広々とした室内各所に子
ども向け、大人向け共に、
様々なテーマの展示をお楽
しみいただけます。

編集後記

図書館の分室は、おすすめ図書
の展示にそれぞれの特色があり、
来室される方と職員との交流も自
然に生まれています。

新たに分室の仲間
入りをした博物館図
書室。そこには司書がいて、博物
館には学芸員がいます。ぜひ、そ
こにいる「人」と言葉を交わし、
実物と本とを行ったり来たりしな
がら、「知る」ことを楽しんでほ
しいと思います。

心を動かす学びの場になるよう
に、「ここに本があってよかつ
た」と思ってもらえる書棚を作っ
ていきたいです。

